

## 事業概要書

事業名	日本語を母国語としない子どものための 学習支援事業
団体名	認定 NPO 法人 外国人の子どものための勉強会
事業担当課	国際推進課

事業概要	
日本語を母国語としない子どもの学習面及び生活面を支援するとともに、地域の人々に日本語を母国語としない子どもに対する理解を促す。	
取り組もうとする松戸市のテーマ（課題）	松戸市では外国籍市民数が年々増加しており、それに伴い日本語を母国語としない子どもも増加している。こうした子どもたちの中には、言葉の障壁や、文化の違いにより、周囲と円滑なコミュニケーションが行えない、授業を理解できない、就学や就労の情報が得にくいといった問題を抱える者がいる。このような問題が、地域から子どもを孤立させたり、子どもの学習機会の喪失につながるものが危惧される。
事業の目的	日本語を母国語としない子どもへ、日常生活や学習に必要な日本語指導及び学習支援を行い、すべての子どもが均しく学び、就学や就職など将来における選択肢を幅広く持ち、真に自立することを促す。 子どもが地域から孤立しないための時間と場所を提供し安心して暮らすことのできる環境づくりを推進する。
事業内容	下記3点を通じて、日本語を母国語としない子どもを対象にした学習及び生活支援を強化する。 <u>1. 定例勉強会の学生スタッフを増やす</u> 令和5年度集中勉強会では大学生に夏休み教室を企画運営してもらい、若い人たちの発想を生かした教室を実施した。令和6年度は定例勉強会でもこの実績を生かし大学生など若い人材が外国人の子どもたちと接する機会を増やし、多文化共生への理解を深めてもらい、当会教室のスタッフとしての参加につなげる。 文化ホール教室 土曜 中学生対象 常盤平教室 火曜 小学生対象 木曜 中学生対象 土曜 小学生対象 新松戸教室 水曜 小中高生対象

	<p><u>2. オンライン授業の導入</u></p> <p>令和5年度はオンライン授業のため Google classroomでの教材の使い方について、スタッフ・生徒に説明を実施。令和6年には遠方や遅い時間でも参加できるように、オンライン授業の実施に取り組む。</p> <p><u>3. 地域との協働</u></p> <p>令和5年度は常盤平団地自治会、ミライノラボとSDGs絡みのワークショップを行う。令和6年度、日本語を母国語としない子どもの多い地域の自治会や周辺大学と協力し、多文化共生に係る交流会を開催する。(出張授業等)</p>
協働の必要性	<p>松戸市では、将来を支える子どもたちのために様々な施策を展開している。その一環として日本語を母国語としない子どもが地域で孤立することなく暮らしていけるよう、日本語指導及び学習支援を実施することが重要と考えている。当会は外国人の子どもを対象に学習支援事業をしている。</p> <p>行政が、当勉強会と連携することで、言語の障壁や、文化の違いのために、日常生活を送ることにストレスや不安を感じる子どもたちに居場所を提供することができる。また、地域と子どもたちのかかわりを構築し、地域の人々に日本語を母国語としない子どもへの理解や協力を促すことができる。</p> <p>また、当勉強会が、行政と連携することで、行政の抱える課題の共有、事業の周知及び会場の確保を一層強化することができ、かつ事業活動の範囲を広げることができると考えている。</p>
事業の目標	<p>① 勉強会の学生スタッフ増 (令和5年度末人数+3名)</p> <p>② オンライン授業の実施</p> <p>③ 地域との交流事業の実施</p>

## 事業の予算概要

【労力換算（限度額算入）】

（単位：円）

区分	科 目	予算額	積算内訳
団体	労力換算額 (A)	¥ 2,918,544	※別紙 労力換算計算書 参照

【収 入】

区分	科 目	予算額	積算内訳
団体	団体拠出金	¥ 115,120	事業費の一部を団体の会計より拠出
	生徒参加費	¥ 180,000	3,000円×3学期×20人
	自己資金の合計額 (B)	¥ 295,120	
市	協働事業負担金 (C)	¥ 500,000	
合計額 (D) = (B+C)		¥ 795,120	

【支 出】

区分	科 目	予算額	積算内訳
負担金の交付対象経費	報償費	¥ 130,000	短期集中勉強会&交流会 外部スタッフ謝金 2,000円×5人×13回
	消耗品費	¥ 120,000	インク・コピー用紙・文房具・手指消毒液、事務用品、衛生関連諸費、図書・教材費2,000円×35部
	印刷製本費	¥ 60,000	定例勉強会 生徒募集チラシ印刷（日本語・中国語・英語・ベトナム語） 20,000円（20円×250部×4言語） 短期集中勉強会&交流会 チラシ印刷 40,000円（20円×2000部）
	使用料及び賃借料	¥ 336,320	定例教室使用 常盤平教室：19,000円×12回、 新松戸教室：1800円×4回 受験教室：800円×25回 オンライン授業用 ポケットWi-Fi 5,000円×12ヵ月 ZOOM ID 1,760円×12ヵ月
	イベント行事保険	¥ 2,800	行事保険 28円×50人×2回
	対象経費の合計 (E)		¥ 649,120
（その他）対象経費	交通費	¥ 30,000	外部団体訪問等 1500円×5人×4回
	印刷製本費	¥ 30,000	会報 10,000円×3回
	通信運搬費	¥ 66,000	活動報告会報郵送代 22,000円×3回
	その他	¥ 20,000	オンライン授業用PC
	その他経費の合計額 (F)		¥ 146,000
合計額 (G) = (E+F)		¥ 795,120	

【チェック項目】

- 1 協働事業負担金 (C) が、対象となる経費 (E) 欄の90%以内であること。
- 2 協働事業負担金 (C) が、自己資金 (B) 欄に労力換算額 (A) 欄を加えた額を超えないこと。
- 3 協働事業負担金については、50万円を上限とする。

# 労力換算計算書

(単位：円)

項 目		換算額	積算内訳
労 力 換 算 額	活動計画		人数×時間回数×984円
	定例勉強会の受入れ生徒数を増やすための周知活動（チラシの作成・配布）	7,872 円	2 人 × 2 h × 2 回 × 984 円
	定例勉強会における授業の実施	2,715,840 円	46 人 × 2 h × 30 回 × 984 円
	集中勉強会の準備	49,200 円	5 人 × 2 h × 5 回 × 984 円
	オンライン授業の実施	47,232 円	2 人 × 2 h × 12 回 × 984 円
	地域との協働（常盤平団地自治会）の準備	19,680 円	5 人 × 2 h × 2 回 × 984 円
	地域との協働（常盤平団地自治会）の実施	78,720 円	10 人 × 4 h × 2 回 × 984 円
			人 × h × 回 × 984 円
			人 × h × 回 × 984 円
			人 × h × 回 × 984 円
			人 × h × 回 × 984 円
			人 × h × 回 × 984 円
			人 × h × 回 × 984 円
			人 × h × 回 × 984 円
合 計 (A)	2,918,544 円		